

第6次多賀町総合計画実施計画 令和6年度進捗状況

令和6年4月～令和7年3月

章	節	事業番号	概要	実施指標	実績値(R5)	目標値(R6)	①R6最終予算(千円)	②実績値(3月末現在)	③自己評価	④自己評価に対する理由	⑤今後の取り組み(改善策など)	担当課
1	1	1	就学前の子どもや保護者の居場所づくりを行い、子育ての負担や不安を解消する。 0～3歳児278人の15%(42人+保護者42人)の参加で年30回の開催をめざす。	子育て広場開催数、参加親子数	30回、延べ2,628人	30回、延べ2,500人	4,830	29回、3518人	A(期待どおりの成果を上げている)	ホームページ等で子育て支援センターの活動等を広報している。	月3回子育て広場を開催し、その他の日は自由に親子が集える場所を提供していく。	教育総務課(子ども家庭応援センター)
1	1	2	臨床心理士などの専門職の配置を図り、保護者や子どもの心のケアを行う。小学校2校、中学校1校の学校訪問を行う。大滝小学校月2回、多賀小学校週1回、多賀中学校随時。	臨床心理士設置数(3校分)	3人	3人	2,590	3人	A(期待どおりの成果を上げている)	3名の専門性を生かして各小学校にて相談や検査にあたれている	今後も3人体制でいく	教育総務課(子ども家庭応援センター)
1	1	2		臨床心理士学校訪問回数(3校分)	84回	88回		88回	A(期待どおりの成果を上げている)	月2～3回の訪問日には計画的にケースへの対応をしてもらい学校現場としても非常に助かっている	回数は増やしたいが今年度並みは最低限必要	教育総務課(子ども家庭応援センター)
1	1	3	児童虐待の個別ケースに対し、家庭訪問や面接を実施する。	対応ケース数	56ケース	70ケース	118	65	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	必要な家庭への訪問や面談を実施している。また児童の在籍校園へ状況の聞き取りを行っている。	新規ケースを見落とさないよう、啓発に努める	教育総務課(子ども家庭応援センター)
1	1	4	幼稚園、保育園、こども園、子育てサークルと連携し、子育て世代の保護者への親子とのふれあい活動や子育てに関する講演会等を実施する。 幼児(3～5歳)200人保護者の60%の参加(子育て講演会80人×1回、親子ふれあい活動20人×11回)をめざす。	子育てに関する講演会等開催数、参加者数	15回、延べ502人 子育てサークル ・子育て相談 7回 140名 ・親子ふれあい活動 5回 118名 保幼 ・子育て後援会(うぐいす) 114名 ・ふれあい活動(うぐいす、たきのみや) 130名	12回、延べ300人	188	19回、延べ450人 子育てサークル ・子育て相談6回 90名 ・親子ふれあい7回 97名 保幼 ・子育て相談2回 46名 ・親子ふれあい4回 217名	A(期待どおりの成果を上げている)	目標値を大きく上回っており、期待通りの成果が得られたため。	引き続き、対象の園、子育てサークルへ積極的に続き呼びかけをおこない連携をはかる。	生涯学習課
1	1	5	食の大切さや地産地消を伝えるとともに、農業への関心を高めることを目的に、農業体験・食育の機会を提供する。 幼児(3～5歳)200人の50%の参加をめざす。	農業体験事業等開催数、参加者数	6回 375人	2回、延べ100人	—	8回 377人	A(期待どおりの成果を上げている)	目標値を大きく上回ったため	特になし	産業環境課
1	1	6	木のおもちゃ・遊具とふれあい機会を増やすことで木の良さを体験してもらい、林業への関心を高める。幼児(3～5歳)200人の50%の参加をめざす。	木育・林業イベント等開催数、参加者数	6回、延べ90人	2回、延べ100人	330	6回、延べ141人	A(期待どおりの成果を上げている)	丁寧な補助金説明を行い、取組団体および参加者が増加したため(対象4団体)	引き続き取組団体を増やす	産業環境課
1	1	7	母子健康手帳発行時等に妊婦健康診査の受診を勧奨する。	妊婦健康診査受診率、申請者数	32人	100%、60人	5,486	100%、26	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	母子手帳交付数は減少傾向にあるが、すべてに妊婦が妊婦健診を受診できている。	継続実施	福祉保健課
1	1	8	不妊治療費助成の推進を実施する。	不妊治療費助成率、申請者数	0件	100%、2人	150	0	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	R6～不育症検査、治療費補助を開始したが、利用者はまだない。	継続実施、周知の徹底	福祉保健課
1	1	9	福祉医療受給券未申請の交付対象者へ制度の周知、申請の啓発を図ると同時に、県外受診された償還払いの対象者の申請を促す。対象者には通知しているものの、未申請者もあるため、広報に掲載するなどし、さらなる周知を図る。	広報掲載数	1回	1回	66,830	1回	A(期待どおりの成果を上げている)	制度の周知、啓発を目的に広報に掲載することができた。	今後も、広報等で制度の周知、啓発を行っていくほか、受給券未申請対象者に対しては、再案内を行った上で電話連絡を実施する。	税務住民課
1	1	10	自然や生活文化に触れ合い、社会で生きる力を育むため、小中学生を対象とした「体験活動」の充実を図る。	小中学生を対象とした体験事業数、参加者数	7講座、延べ398名	6事業、延べ660人	285	6事業、延べ440人	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	実績数について目標値を下回ったが、昨年度と比較して実績数が増加しているため。	講座内容の停滞を防ぎつつ、ニーズに応じた新規講座の開設や積極的な参加呼びかけを行い、学びの活性化を図る。	生涯学習課

章	節	事業番号	概要	実施指標	実績値(R5)	目標値(R6)	①R6最終予算(千円)	②実績値(3月末現在)	③自己評価	④自己評価に対する理由	⑤今後の取り組み(改善策など)	担当課
1	1	11	行政と多賀町青少年育成町民会議や学校、事業所等と連携を図り、青少年に対する防犯意識を高める活動を実施する。51人(常任委員41人＋その他10人)×3回×年2回、常任委員41人×1回の実施をめざす。	青少年に対する防犯意識を高める活動数、参加者数	動員活動7回、延べ273人 ・第1回あいさつ運動(7月実施) 延べ257名 ・万灯祭愛ハト 延べ42名 ・ビバ愛ハト 延べ34名 ・啓発のぼり旗設置 16名 ・非行防止街頭キャンペーン 18名 ・第2回あいさつ運動(11月実施)225名 ・町民のつどい 124名	7回、延べ700人	1,285	1,276	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	計画建てたことは、役員の積極的な意見の元、前年度踏襲ではなく、一歩ずつではあるが前進している。	校園訪問を再開した。単に参観するだけでなく、中学生サミットの実現を念頭に置き、「自分たちの課題を自分たちで見つけ、その課題を自分で解決する力を身につける。また、周りの大人たちに解決できない部分をどう手助けしてもらうかを考えられる」力をつけるために、校園、育成町民会議がどう連携していくのかを模索中。	生涯学習課
1	1	12	放課後児童クラブの保育メニューの充実、保育の質を向上するための、指導員がスキルアップを目的とする研修を受講する。	指導員のスキルアップを目的とする研修受講回数	9回	延べ12回	—	6回	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	引き続き県から周知された研修は指導員へ案内を行っている。	保育の質の向上をテーマに多賀町放課後児童クラブ独自で研修会を開催する。	教育総務課
1	2	1	0歳児から5歳児までの発達段階に応じた保育・教育を実施する。多賀ささゆり保育園定員190人	利用調整実施後の入所希望者受け入れ率(多賀ささゆり保育園)	99.5%	100%	414,845	95%	C(期待を下回る)	保育士数の不足などから受入れが出来なかったため	国による配置基準の見直しなど動向を注視し、適切に対応する。	教育総務課
1	2	2	0歳児から5歳児までの発達段階に応じた保育・教育を実施する。大滝たきのみやこども園定員60人	利用調整実施後の入所希望者受け入れ率(大滝たきのみやこども園)	98.4%	100%	159,870	95%	C(期待を下回る)	保育士数の不足などから受入れが出来なかったため	国による配置基準の見直しなど動向を注視し、適切に対応する。	教育総務課
1	2	3	0歳児から5歳児までの発達段階に応じた保育・教育を実施する。久徳うぐいすこども園120人	利用調整実施後の入所希望者の受け入れ率(久徳うぐいすこども園)	93%	100%	154,734	93%	C(期待を下回る)	保育士数の不足などから受入れが出来なかったため	国による配置基準の見直しなど動向を注視し、適切に対応する。	教育総務課
1	2	4	老朽化した多賀幼稚園の幼保連携型認定こども園への建替えを行う。建設施設(仮称)久徳こども園定員120人(予定)	多賀幼稚園建替え終了	—	—	—	—	—	—	—	教育総務課
1	3	1	土曜講座(サタスタ)を開催し、補充学習の充実を図る。	土曜講座(サタスタ)受講生徒数	29人	35人	800	37	A(期待どおりの成果を上げている)	各学年、適正規模での講座が開設ができており、学習に前向きに取り組んでいる。	提携塾からの十分な講師派遣ができない時もあり、今後提携塾と協議を図る。	学校教育課
1	3	2	多賀小学校において、講師や学習支援員などを配置し、きめこまやかな指導を図る。	町費講師の配置数	1人	1人	15,223	1人	A(期待どおりの成果を上げている)	必要人数を配置できている	引き続き、必要人数を配置していく	教育総務課
				学習支援員の配置数	7人	6人		8人	A(期待どおりの成果を上げている)	必要人数を配置できている	引き続き、必要人数を配置していく	教育総務課
				スクール・サポート・スタッフの配置数	1人	1人		1人	A(期待どおりの成果を上げている)	必要人数を配置できている	引き続き、必要人数を配置していく	教育総務課
1	3	3	大滝小学校において、講師や学習支援員などを配置し、きめこまやかな指導を図る。	町費講師の配置数	2人	2人	9,568	2人	A(期待どおりの成果を上げている)	必要人数を配置できている	引き続き、必要人数を配置していく	教育総務課
				学習支援員の配置数	1人	1人		1人	A(期待どおりの成果を上げている)	必要人数を配置できている	引き続き、必要人数を配置していく	教育総務課
				スクール・サポート・スタッフの配置数	1人	1人		1人	A(期待どおりの成果を上げている)	必要人数を配置できている	引き続き、必要人数を配置していく	教育総務課

章	節	事業番号	概要	実施指標	実績値(R5)	目標値(R6)	①R6最終予算(千円)	②実績値(3月末現在)	③自己評価	④自己評価に対する理由	⑤今後の取り組み(改善策など)	担当課
1	3	4	多賀中学校において、講師や学習支援員などを配置し、きめこまやかな指導を図る。	町費講師の配置数	3人	3人	13,634	4人	A(期待どおりの成果を上 げている)	必要人数を配置できている	引き続き、必要人数を配置していく	教育総務課
				学習支援員の配置数	2人	3人		3人	A(期待どおりの成果を上 げている)	必要人数を配置できている	引き続き、必要人数を配置していく	教育総務課
				スクール・サポート・スタッフの配置数	1人	1人		1人	A(期待どおりの成果を上 げている)	必要人数を配置できている	引き続き、必要人数を配置していく	教育総務課
1	3	5	ICT学習を充実させるため、ICT支援員を設置する。 多賀小学校週2、大滝小学校週1、多賀中学校週1	ICT支援員配置数	1人	1人	3,878	1人	A(期待どおりの成果を上 げている)	各学校現場において、授業や校務の支援が適切かつ計画的に行われている。	引きつづき学校現場におけるICT支援を行う。	学校教育課
1	3	6	英語教育を充実させるため、ALTを小・中学校に配置する。 多賀小学校週5、大滝小学校週2、保育園・幼稚園・こども園月1、多賀中学校週5	ALT配置数	1人	2人	9,504	2人	A(期待どおりの成果を上 げている)	各学校現場において、外国語学習の授業が適切かつ計画的に行われている。	引きつづき学校現場における外国語学習指導を行う。	学校教育課
1	3	7	地域の視点を活かし、森林学習や農業体験を実施し、体験機会の充実を図る。(多賀小学校:やまのこ対象4年生、たんぼのこ3・4・5年生)	やまのこ事業実施数	1回	1回(1泊2日)	389	1回	A(期待どおりの成果を上 げている)	各学校現場において、活動が適切かつ計画的に行われている。	引き続き活動に対して適切な支援を行う。	学校教育課
				たんぼのこ体験実施数	1回	1回(1年間)		1回	A(期待どおりの成果を上 げている)	各学校現場において、活動が適切かつ計画的に行われている。	引き続き活動に対して適切な支援を行う。	学校教育課
1	3	8	地域の視点を活かし、森林学習や農業体験を実施し、体験機会の充実を図る。(大滝小学校:やまのこ対象4年生、たんぼのこ全学年)	やまのこ事業実施数	1回	1回(1泊2日)	146	1回	A(期待どおりの成果を上 げている)	各学校現場において、活動が適切かつ計画的に行われている。	引き続き活動に対して適切な支援を行う。	学校教育課
				たんぼのこ体験実施数	1回	1回(1年間)		1回	A(期待どおりの成果を上 げている)	各学校現場において、活動が適切かつ計画的に行われている。	引き続き活動に対して適切な支援を行う。	学校教育課
1	3	9	就学前・小学校・中学校の連携した教育を推進する。 研修会を各学期に1度開催する。	幼小中連携と連携のための校区研修会	3回	4回	10	1回	A(期待どおりの成果を上 げている)	今年度の取組について共通理解を図り、現在実践中である。	今後も継続して実施する	学校教育課
1	3	10	就学前・小学校・中学校の連携したこころの教育を推進する。 人権主任会を1回開催し、各学校の取組の情報交換を行う。 人権教育研修会を1回開催し、研修機会を設ける。	人権主任会の開催数	1回	1回	5	1回	A(期待どおりの成果を上 げている)	協議内容を焦点化し、充実を図っている。	今後も継続して実施する	学校教育課
				人権教育研修会の開催数	1回	1回		1回	A(期待どおりの成果を上 げている)	協議内容を焦点化し、充実を図っている。	今後も継続して実施する	学校教育課
				いじめ・不登校等対策協議会の開催数	1回	3回		3回	A(期待どおりの成果を上 げている)	協議内容を焦点化し、充実を図っている。	今後も継続して実施する	学校教育課
1	3	11	各分野における先進地視察研修、全員研修会などにより、教育人材の育成を行う。 研修会を2回開催し研修の機会を設ける。	町内教職員研修会開催数	2回	2回	217	2回	A(期待どおりの成果を上 げている)	現場のニーズに合った内容の研修を実施。	今後も継続して実施する	学校教育課
				県外への先進地視察への派遣園・校数	2回	2園(校)		2回	A(期待どおりの成果を上 げている)	教員の資質向上につながっている	今後も継続して実施する	学校教育課
1	3	12	両小学校における農作業体験や生産者との交流機会を通じて、農業への関心を高める。現在の対象(多賀小3年生、大滝小2年生:22%)を拡大し、全児童数約400人の30%の参加をめざす。	農作業体験機機会の開催数、参加者数	3回 156人	4回、 延べ120人	100	3回、延べ170人	B(概ね期待どおりの成果 を上げている)	参加児童数も伸びてきている	特になし	産業環境課
1	3	13	食育だよりの発行を通じ、適切な食事や食育に関する情報提供を行う。(小学校)	食育だよりの発行数	11回	11回	9,985	8プログラム	B(概ね期待どおりの成果 を上げている)	前年度と同様の実績のため。	引き続きプログラムの充実を図り、受け入れ団体の増加につなげる。	教育総務課
1	3	14	食育だよりの発行を通じ、適切な食事や食育に関する情報提供を行う。(中学校)	食育だよりの発行数	11回	11回	-	11回	A(期待どおりの成果を上 げている)	学校関係者へ周知できている	引き続き、学校関係者へ周知していく	教育総務課

章	節	事業番号	概要	実施指標	実績値(R5)	目標値(R6)	①R6最終予算(千円)	②実績値(3月末現在)	③自己評価	④自己評価に対する理由	⑤今後の取り組み(改善策など)	担当課
1	3	15	小学校4年生を対象に、森林をはじめとする環境に理解を深めるとともに、人と豊かにかかわる力を育むため、森林体験交流施設「高取山ふれあい公園」やその周辺森林を使った体験型の学習を展開する。森林環境に対する理解を深めるための体験プログラム数 ①森に親しむ学習、②森づくり体験学習、③森の恵み利用学習、④森の話、実験の分類で計8プログラム	森林環境に対する理解を深めるための体験プログラム数	8プログラム	10プログラム(累計)	9,985	8プログラム	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	前年度と同様の実績のため。	引き続きプログラムの充実を図り、受け入れ団体の増加につなげる。	産業環境課
1	3	16	学校図書室を活用しての読書活動の充実を図り、子どもたちにとって魅力ある図書室の環境づくりを進める。子どもたちの読書・学習活動の活発化のために、読書活動に向かうことのできる機会を増やし、魅力的な情報発信の強化を図る。	児童生徒一人当たりの年間貸出冊数	13.1冊	17.5冊	1,400	13.4冊	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	読書案内や学校行事にそった本の展示を行い読書活動を促した。	学校司書との連絡調整を行い円滑な学校図書館運営を支援する。	生涯学習課(図書館)
1	3	17	小中学生を対象とした理科実習や自然観察会を充実させ、体験機会を提供する(実習や観察会を3回以上実施し、町内小中学生の20%の参加を目標とする)。	小中学生を対象とした理科実習や自然観察会などへの参加者数	418人	130人	136	431人	A(期待どおりの成果を上げている)	自由研究講座や、放課後児童クラブの児童向け体験プログラム、「山の子」での天体観察指導、6年生の実習(理科・地層)など、様々な体験の機会を提供した。	多賀町のならではのプログラムを推進する。また、中学生を対象とした体験機会をより多く提供できるように検討する。	生涯学習課(博物館)
1	3	18	学校支援地域コーディネーターにより、学校と地域との連携を強化する。 必要人数:200日(3校分)×3人	学校支援ボランティア参加者数	805人	延べ600人	976	859人	A(期待どおりの成果を上げている)	各学校園と地域のボランティアとの連携が強化できている。	今後も計画的にボランティアの募集を行う。	学校教育課
1	3	19	学校施設の適切な維持管理を行うことにより、児童の学力の向上を図る。	ICT機器の児童配置率	100%	100%	4,213	100%	A(期待どおりの成果を上げている)	過不足無く児童へのICT機器の配備を行っている。	今後も過不足無くICT機器の整備を行う。	学校教育課
1	3	20	学校施設の適切な維持管理を行うことにより、児童の学力の向上を図る。	ICT機器の児童配置率	100%	100%	3,117	100%	A(期待どおりの成果を上げている)	過不足無く児童へのICT機器の配備を行っている。	今後も過不足無くICT機器の整備を行う。	学校教育課
1	3	21	学校施設の適切な維持管理を行うことにより、児童の学力の向上を図る。	ICT機器の生徒配置率	100%	100%	6,695	100%	A(期待どおりの成果を上げている)	過不足無く生徒へのICT機器の配備を行っている。	今後も過不足無くICT機器の整備を行う。	学校教育課
1	4	1	既存都市公園2箇所(多賀公園、四手公園)があるが、大型遊具がなく、子どもが楽しく、安心して遊べる公園を新たに1箇所整備する。	新たな公園の整備	整備工事中	100%	49,995	100%	A(期待どおりの成果を上げている)	予定より若干遅れたが、供用開始した。	適切な管理運営・維持管理を行う。	企画課
1	4	2	公園施設の安全性のため遊具等の適切な維持管理を行う。	多賀公園遊具等点検数	年1回	年1回	70	1回	A(期待どおりの成果を上げている)	点検実施済み	導入より20年を経過しているため、中期的には遊具の更新を検討する。	企画課
1	4	3	利用しやすい公園を維持するため、定期的に除草を行うなど適切な維持管理を行う。	多賀公園芝生広場除草数	1箇所、延べ11回	1箇所、延べ11回	847	11回	A(期待どおりの成果を上げている)	指定管理者による管理であり、適切に管理されている。	引き続き適切な管理が行われるよう指導していく。	企画課
2	1	1	文化財の保存や活用について意識高揚を図るため、展示や講座等事業を実施する。町民人口7,600人の8%を目指す。	文化財保存活用事業開催数、参加者数	催 数 11回参加者数 1	12回、延べ400人	5,298	18回、延べ452人	A(期待どおりの成果を上げている)	計画どおり取り組んでいる。	維持に努める。	生涯学習課(文化財センター)
2	1	2	町史編纂を考える委員会及び編纂委員会を開催し検討を行っており、シリーズ「多賀」第4～6巻の刊行を目指す。記録保存等を目的とした調査や資料収集を行う。(調査対象箇所50件／未調査箇所25件)令和5年度完了予定	シリーズ「多賀」第4～6巻の刊行	0	1冊	1,350	0	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	民俗の聴き取り調査報告を1冊刊行した。	資料の収集に努める。	生涯学習課(文化財センター)
				民俗文化財(祭礼芸能等)調査数	5件	5件		6件	A(期待どおりの成果を上げている)	計画どおり取り組んでいる。	維持に努める。	生涯学習課(文化財センター)
2	1	3	本町に残る郷土料理と食文化の調査と啓発事業を行う。2017年度～2020年度のYOBISHIプロジェクト事業参加者平均約1,000人の8割の参加を目指す。	郷土料理講座等開催数、参加者数	0	6回、延べ100人	0	4回、延べ150人	A(期待どおりの成果を上げている)	計画どおり取り組んでいる。	維持に努める。	生涯学習課(文化財センター)

章	節	事業番号	概要	実施指標	実績値(R5)	目標値(R6)	①R6最終予算(千円)	②実績値(3月末現在)	③自己評価	④自己評価に対する理由	⑤今後の取り組み(改善策など)	担当課
2	1	4	人口減少、少子高齢化による継承者不足等で、失われつつある文化財を保存活用するために調査を実施する。	未指定文化財調査数	7	5件	46,575	10件	A(期待どおりの成果を上げている)	計画どおり取り組んでいる。	維持に努める。	生涯学習課(文化財センター)
				文化財資料収集資料数	500	350点		527件	A(期待どおりの成果を上げている)	計画どおり取り組んでいる。	収集は進んでいるが、整理が進められていない。計画的に進めていく。	生涯学習課(文化財センター)
2	1	5	埋蔵文化財保護、整備活用に伴う調査等の実施。	埋蔵文化財試掘・発掘件数	14	5件	2,448	20件	A(期待どおりの成果を上げている)	計画どおり取り組んでいる。	維持に努める。	生涯学習課(文化財センター)
2	1	6	史跡敏満寺石仏谷墓跡保存管理計画に基づき、保存整備を進める。	敏満寺石仏谷墓跡保全整備工事進捗率	34%	39%	8,386	39%	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	予算に応じて進めている。	追加指定を見据えて、計画を見直す予定	生涯学習課(文化財センター)
2	1	7	市民との協働により、多賀町の古琵琶湖層群と含まれる化石の調査およびその成果に基づく多賀町の魅力の掘り起こしに取り組む(古代ゾウ発掘プロジェクト調査団登録者数100人 発掘調査165人(10日)+発掘体験15人(1日))。	古代ゾウ発掘プロジェクト関連事業(発掘調査、発掘体験など)の参加者および協力者数	182人	延べ30人	54	33人	A(期待どおりの成果を上げている)	化石発掘体験と珪藻化石のワークショップを開催した。しかし、発掘調査は休止中であるため、参加者数や協力者数は限定的にならざるをえない。	化石発掘体験は非常に人気がある事業で、今後も継続的に開催したい。また、発掘調査報告書Vol.2の刊行に向けて、研究分担者や協力者と協力しつつ成果の取りまとめを進める。	生涯学習課(博物館)
2	1	8	多賀町の自然や文化に関連するテーマの展示や博物館が収蔵する標本・資料を活用した展示を開催し、多賀町の魅力を発信する(多賀町の人口に対して40%の観覧者数を目標とする)。※米原市立伊吹山文化資料館の同様の展示についての入場実績R1:1300人	企画展等の展示日数、観覧者数	177日、延べ5,254人	100日、延べ3,000人	530	112日、延べ3,742人	A(期待どおりの成果を上げている)	企画展「山村とつながるひと」は好評により会期を1ヶ月間延長した。また、「夏休み自由研究展」、小学生の参加型調査の成果を紹介した「多賀町星空調査展」、「干支(巳年)にまつわるエトセトラ展」を開催し、多くの方にご観覧いただいた。	オリジナリティーのある展示内容や地域のトピックを取り上げた企画を通じて、自然・歴史・文化に関する啓発と発信を推進する。	生涯学習課(博物館)
2	1	9	博物館の常設展示更新にむけて、博物館協議会、古代ゾウ発掘プロジェクト検討委員会、ミュージアムサポーターなどを通じ、地域住民と協働して課題と新たな展示案を検討する。	展示修正案の検討に関係した協力者数	13人	延べ15人	98	2人	C(期待を下回る)	博物館協議会で化石を活用した取り組みの先進地視察(丹波市)を行ったが、参加した委員が少なかった。また、ミュージアムサポーター養成講座の活動として計画していた	アケボノゾウ化石保存活用計画策定委員会でアケボノゾウ化石多賀標本の展示更新に関する協議を行うほか、ミュージアムサポーター養成講座の活動として展示手法の学習	生涯学習課(博物館)
2	1	10	令和4年3月に天然記念物指定(国)を受けたアケボノゾウ化石多賀標本を活用し、地域の自然史のPRと地域振興を推進する。	アケボノゾウに関連する催し物開催数	5回	4回	406	4回	A(期待どおりの成果を上げている)	東京都中央区で開催された浜町マルシェでアケボノゾウ化石多賀標本のPR活動を行った。また、シガタガゾウのサト祭り実行委員会へ業務委託し、多賀小学校・大滝小学校の6年生を対象とした地域学習とその成果の展示、座談会を推進した	シガタガゾウのサト祭り実行委員会へ業務委託し、デザインやアートを通じたアケボノゾウの普及と地域資源としての活用推進に取り組む。	生涯学習課(博物館)
2	1	11	どのような資料が求められているか、的確に汲み取ることのできる職員のスキルアップを図る。あらゆる機会を捉えて、地域にかかわる資料を確保していきます。そのための情報提供、寄贈、寄付を積極的に求める。様々な魅力を持った資料を幅広く収集し、その魅力を十分に引き出して見せる図書館の棚づくりを進める。資料を活かした文化活動やまちづくり活動、資料を通じた人々との出会いの場をつくる機会を拡げる。	町民一人当たり年間貸出冊数	13.3冊	16.5冊	6,000	13.3冊	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	リクエスト本の提供や企画展示の開催で読書活動推進を図った。	利用者の資料要求に即した収集と読書の推進を図る展示で利用の促進に努める。	生涯学習課(図書館)

章	節	事業番号	概要	実施指標	実績値(R5)	目標値(R6)	①R6最終予算(千円)	②実績値(3月末現在)	③自己評価	④自己評価に対する理由	⑤今後の取り組み(改善策など)	担当課
2	2	1	本町の歴史やまちづくりについて学ぶ学習・活動機会を提供する。	生涯学習受講者数(町民大学)	58人	延べ400人	146	6講座 申込者75人 参加者70人	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	目標値は下回っているが、前年度の実績値を上回っているため。	町民のニーズを捉え、魅力ある事業を計画する。また、幅広い年代の方に参加してもらえるような事業を企画する。	生涯学習課
2	2	2	時代のニーズに応じた新たなメニューと人材を発掘し、幅広い学習機会を支援する。	ほっとコミュニティ講座参加者数	5講座133名	延べ150人	1,290	5講座 延べ144人	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	目標値を下回っているが、概ね目標を達成しているとともに、昨年度の実績値を上回っているため。	町民のニーズを反映させた講座を増やし、さらなる受講者数の確保、町民への幅広い生涯学習の機会提供に努める。	生涯学習課
2	2	3	公民館の設備・機能の維持管理を適切に行い、文化団体の活動拠点として、またホールの利用促進事業の実施、さらには一般利用者が気軽に訪れやすい施設づくりに努める。	中央公民館の1日あたり入館者数	179人 入館者数:49,310人／ 開館:275日	200人	17,889	222人 入館者数:61,158人／ 開館:275日	A(期待どおりの成果を上げている)	昨年度実績、今年度の目標値をともに上回っているため	町外内に関わらず、生涯学習の拠点として幅広く利用していただけるよう、施設のPR、必要に応じて改善をおこなっていく。	生涯学習課
2	2	4	普及交流事業や展示、調査、標本整理などの事業を通じて、博物館の取り組みに参画し、子どもたちからシニア世代まで幅広い世代の地域住民と博物館とをつなぐ人材を育成する(R5目標:標本整理:5人×12回、調査・収集:2人×8回、普及交流事業:3人×6回)。	ミュージアムサポーター活動者数	延べ111人	延べ77人	14	93人	A(期待どおりの成果を上げている)	月1回の植物標本の整理を定期的に行った。また、ミュージアムサポーター養成講座を通じて、博物館活動をサポートする人材の育成に取り組んだ。	市民参加による標本の整理と博物館活動をサポートする人材の育成に継続的に取り組む。	生涯学習課(博物館)
2	2	5	町民の文化・芸術活動の向上を図るため、文化団体の活動を支援し、5年後に町民7,600人の5%以上の参画を目指すことを目標に年1団体増やす。	団体数と加盟者数	27団体、延べ257名	33団体、 延べ380人	120	24団体、 延べ230人	C(期待を下回る)	団体、延べ人数ともに昨年度と比較し、減少したため。	加盟団体による各種発表機会の提供、既存の広報誌の作成方法の見直し等により団体の活動周知に努め、加盟者数の確保を図る。	生涯学習課
2	2	6	住民と行政が一体となりまちづくりを学び、自らが実践する活動機会の場を構築し、25名の委員からなる組織体制を目指す。	社会教育フォーラムの参加者数	28名	延べ50人	56	申込者 55人 参加者 48人	A(期待どおりの成果を上げている)	定員50名に対し定員以上の申し込みがあり、積雪等による欠席者があったものの、概ね定員どおりの参加があったため。	町の課題や、ニーズを捉えたテーマの選定を行う。	生涯学習課
2	2	7	子どもたちが夢や希望をもってスポーツに打ち込むことができるように、指導者の育成などスポーツの環境づくりを整える。	学校部活動及び地域クラブ活動のあり方検討	会議1回	会議1回	255	会議3回	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	検討会の方向性に係る協議を通して、推進計画の策定や地域移行に向けた実証事業における検証ができています。	今後も、検討会を実施しながら、子どもたちのためにスポーツ・文化芸術活動の環境づくりに努めたい。	生涯学習課
3	1	1	防災災害情報の発信機能を整備し、不測の事態においての迅速な情報発信を行うため、広報紙やHP上等により防災メール登録を呼びかけることで、一人でも多くにメール登録を行う。	防災メール登録者数	2120人	2,000人	—	2237	A(期待どおりの成果を上げている)	目標値を上回っているため	引き続き、広報紙やHP上等により防災メール登録を呼びかけてまいります。	総務課
3	1	2	近年の異常気象に対応すべく、地域の防災に関する備品の整備促進を行う。	消防防災施設等整備事業補助金活用自治会数	22団体	23団体	6,387	19団体	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	申請団体数は、目標値の80%強となっているが、今年度は消火栓ボックス関連補助金を強化しており、各団体で確認がすすめられた結果、執行していることから概ね想定どおりと考えます。	引き続き、地域の防災に関する備品の整備促進を行う。	総務課
3	1	3	自主防災組織の維持を図るとともに、全集落を対象とした防災・避難訓練を実施し、地域の防災力を維持する。(各年 防災訓練 300人 避難訓練 1,000人)	防災訓練参加者数	796	1,300人	354	10/20(日)実施 354人	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	滋賀県防災訓練の分科会場として大滝小学校で訓練を行った。これまでにない大規模な訓練を行うことができた。	今年度の訓練結果を踏まえて、次年度訓練を検討していきたい。	総務課

章	節	事業番号	概要	実施指標	実績値(R5)	目標値(R6)	①R6最終予算(千円)	②実績値(3月末現在)	③自己評価	④自己評価に対する理由	⑤今後の取り組み(改善策など)	担当課
3	1	4	災害時における人員、物資、役務などを行政、民間、団体など関係機関と災害応援協定を締結し、受援体制を確立する。 R2実績→R5目標: 人的応援7団体→7団体、物的応援10団体→13団体、その他13団体→16団体 計30団体	災害応援協定締結団体数	38団体	39団体(累計)	—	41団体	A(期待どおりの成果を上げている)	目標値は、達成しているが、当町で防災面で不十分な面を補える団体と締結できるように検討したい。	自己評価を踏まえて目標値を達成できるようにしてまいりたい。	総務課
3	1	5	雨量情報表示板と連動させた土砂災害情報の発信を行うため、土砂災害情報相互通信システムを維持する。	土砂災害情報相互通信システム故障発生数	0件	0件	33	0	A(期待どおりの成果を上げている)	適切な維持管理を図っているため。	今後も適正な維持管理に努める。	地域整備課
3	1	6	災害時における食料、資機材などの物資を備蓄し、発災時の使用資機材や避難者支援物資の確保に努める。	避難者用備蓄数	7,098食(累計)	8,470食(累計)	580	9,263食	A(期待どおりの成果を上げている)	目標値を達成した。	発注準備をして、納品が確実に行われるようにしたい	総務課
3	1	7	地震被害の軽減等に資するため、耐震診断に対する支援や耐震改修の支援を行う。 木造住宅耐震診断員派遣1回38,000円、補強案作成1回63,000円、木造住宅改修等補助金(上限800,000円)	木造住宅耐震改修等事業費補助数	耐震診断・補強案作成: 11件	1件	1,322	2件	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	1月の能登地震の影響もあり、年度当初から2件の申し込みがあったが、耐震改修には結びつかなかった。	耐震係数が不足している場合は、改修が行われるよう働きかけを行う。また、現行補助制度を国制度に合わせる形で補助額の増を行った。	企画課
3	1	8	防火意識向上のため、各地域ごとの自警組織による防火消火訓練の実施を促す。	防火消火訓練実施自治会数	28団体	20団体	—	28団体	A(期待どおりの成果を上げている)	区長会や、防災訓練の案内もあり、各字独自での取り組みが見られた。	引き続き、防火意識向上のため、各字、自治会、自警団および自主防災組織へ働きかけを行いたい。	総務課
3	1	9	自主防災組織の維持を図るとともに、装備の充実を図り、地域の火災予防力を維持する。	自主防災組織数	32組織	32組織	—	32	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	現状維持	現状維持	総務課
3	1	10	消防団組織の構成年齢の維持や加入促進を図る。	消防団員数	51人	58人	22,586	54	C(期待を下回る)	消防団員の確保は過去より努めているが、苦慮している状況である。年度内に第1分団第1班への入団者を確保することができた	引き続き、団員確保に努める。	総務課
3	1	11	新型コロナウイルス感染症への対応を検証のうえ、行動計画の見直しを行う。	新型インフルエンザ等感染症行動計画の見直し	0	1計画	0	0	C(期待を下回る)	滋賀県における計画が令和7年度に作成されるため。年度内に策定する事ができなかった。	県で第3回まで有識者会議を予定されているので、これらを踏まえて策定する必要がある。	総務課
3	2	1	道路交通安全施設の適切な維持管理を行う。 実施済9/要望数18	要望数に対する実施割合	46.7%	50%	2,700	77.70%	A(期待どおりの成果を上げている)	単価契約業者との協議が円滑に進んだため。	今後も適正な維持管理に努める。	地域整備課
3	2	2	通学路上に防犯カメラを設置する。	防犯カメラ設置数	15台	18箇所(累計)	611	15台	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	教育委員会と協議して本年度は追加箇所を計上していない。	引き続き教育委員会と協議し、必要な箇所へ設置したい。	総務課
3	2	3	遠距離通学生徒の安全な通学手段を確保する。	通学バス利用者数 通学タクシー	60人/日、 13人/日	65人/日、 9人/日	42,358	53人/日、 14人/日	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	多賀小学校通学バスの購入やタクシーの活用しているため。	必要に応じて配車方法を変更し、関係機関と分担しながら実施する。	教育総務課
3	2	4	特殊詐欺等被害の未然防止のため、有線放送を利用した啓発放送、啓発物資の購入、配布等を行う。	消費者からの相談数	町に0件、県に29件の相談	50件	—	町 0件、県 43件	A(期待どおりの成果を上げている)	目標値以下で推移していると考ええる。	引き続き、特殊詐欺等被害の未然防止のため取り組んでまいります。	総務課
3	2	5	集落における「子ども110番の家」の維持を図り、子どもが犯罪被害にあわないように、犯罪の抑止と避難場所を確保します。	子ども110番の家の設置数	132件	134件	2,833	141	A(期待どおりの成果を上げている)	子どもが居住していない。または、日常でも滞留しない集落もあり、その辺りの考察が必要と考ええる。	目標値を目指します。	総務課

章	節	事業番号	概要	実施指標	実績値(R5)	目標値(R6)	①R6最終予算(千円)	②実績値(3月末現在)	③自己評価	④自己評価に対する理由	⑤今後の取り組み(改善策など)	担当課
3	2	6	交通指導員を委嘱し、街頭指導を実施、交通安全意識を高める。	街頭指導者数	244人	延べ100人	798	196	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	計画どおりの進捗である。	引き続き計画通り進める。	総務課
3	2	7	文化財の防犯対策のため、情報の記録化、定期的な巡回を行う。	文化財巡回数	1	2回	0	4回	A(期待どおりの成果を上げている)	計画どおり取り組めている。	維持に努める。	生涯学習課(文化財センター)
				未指定文化財調査数	7	5件		10件	A(期待どおりの成果を上げている)	計画どおり取り組めている。	維持に努める。	生涯学習課(文化財センター)
3	3	1	健康づくり推進協議会開催し、健康課題について検討。いきいきライフ体験塾等健康づくり事業を実施する。前年度を上回る参加をめざす。	いきいきライフ体験塾開催数、参加者数	1回、125人	1回、60人	217	1回 47人	A(期待どおりの成果を上げている)	血流検査、理学療法士の指導、途中にある神社について学習、ビフテクアプリを使いしポイント取得しながらウォーキングするといった体験型運動教室を開催することができた。参加者から大好評であり、反響が大きかった。	継続実施	福祉保健課
3	3	2	各種がん検診を実施する。目標値は健康増進計画に合わせる。	胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん	胃5.4%、肺8.0%、大腸9.4%、子宮頸8.9%、乳9.2%	各30%	10,550	胃5.5%、肺8.1%、大腸9.8%、子宮頸7.4%、乳8.5%	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	昨年度の同時期と比較して受診率が高かったため。	来年度のがん検診に向けて受診勧奨方法等を検討する。	福祉保健課
3	3	3	健康づくり推進協議会開催し、健康課題について検討。いきいきライフ体験塾等健康づくり事業を実施する。前年度を上回る参加をめざす。	いきいきライフ体験塾開催数、参加者数(再掲)	1回、125人	1回、60人	217	1回 47人	A(期待どおりの成果を上げている)	血流検査、理学療法士の指導、途中にある神社について学習、ビフテクアプリを使いしポイント取得しながらウォーキングするといった体験型運動教室を開催することができた。参加者から大好評であり、反響が大きかった。	継続実施	福祉保健課
3	3	4	町のホームページ、広報など、様々な媒体を活用し、健康に関する情報を発信する。	情報発信数	24回	30回	217	24回	A(期待どおりの成果を上げている)	健康や制度などタイムリーな情報を広報や有線放送で発信できた。	今後も継続して情報発信をしていく。	福祉保健課
3	3	5	国保対象者向けに助成している人間ドック補助金制度(補助率:費用の1/2、上限2万円)について、広報への掲載とチラシの全戸配布により周知し、申込者数の増加を図る。令和2年度において、国保被保険者1602人に対して申込者129人となっている。	人間ドックの申込者数(申込者数/被保険者数)	8.76%(124人/1,397人)	8.70%	2,800	8,9%(122人/1371人)	A(期待どおりの成果を上げている)	昨年度より若干数申込者が減少したが、目標値を上回ることができた。	今までは受付期間を4月末頃としていたが、締め切り後の問い合わせが多くあったことから受付期間を延ばし、一人でも多くの方保険者に申し込みただけよう取り組む。	税務住民課
3	3			広報掲載回数	1回	1回		1回	A(期待どおりの成果を上げている)	広報に掲載し、効果的な周知ができた。	今後も広報に掲載し、効果的に周知していく。	税務住民課
3	3			チラシによる周知数	1回(2600枚)	1回、2,600枚		1回 2,700枚	A(期待どおりの成果を上げている)	補助金についてチラシを予定数どおりに配布できた。	今後も補助金についてチラシを作成し、広報でも周知していく。	税務住民課
3	3	6	湖東定住自立圏推進協議会・消防救急部会などと協議を通じて、救急医療体制の充実を図る。 部会員:彦根市福祉保健部健康推進課長・彦根市福祉保健部医療福祉推進課長・彦根市立病院事務局病院総務課長・彦根市消防本部警防課長・愛荘町健康推進課長・豊郷町医療保険課長・甲良町保健福祉課長・多賀町福祉保健課長	湖東定住自立圏推進協議会・消防救急部会への参加数	0回	1回	2,260	1回	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	計画どおり参加できている。	今後も協議会等の開催があれば参加していく。	福祉保健課
3	3	7	乳幼児健診時において、啓発資材を用いて小児の救急受診や応急処置などの個別指導を実施する。乳児健診と1歳半健診、整形外科健診で行っているが、他の乳幼児健診(2歳半、3歳半)での実施を進める。	救急に関する個別指導数	30回	33回	—	48回	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	乳幼児健診にて啓発資材を用いて小児の救急受診や応急処置などの個別指導を実施した。	継続実施	福祉保健課

章	節	事業番号	概要	実施指標	実績値(R5)	目標値(R6)	①R6最終予算(千円)	②実績値(3月末現在)	③自己評価	④自己評価に対する理由	⑤今後の取り組み(改善策など)	担当課
3	3	8	スポーツ推進員を中心に、健康づくりを目的に気軽にできるニュースポーツの普及を行い、町民の10%の参加率を目指す。	ニュースポーツ体験者数	791	延べ760人	743	延べ1062人	A(期待どおりの成果を上げている)	昨年度実績値、目標値と比較して、上回っているため。	既存の事業の他、町内イベント等にも積極的に参加し、体験会を実施するなどニュースポーツの普及に努めたい。	生涯学習課
3	4	1	公共施設や道路・交通環境などを含めた生活環境が、すべての人にとって安全に暮らせる環境となるように、ハード・ソフト両面にわたって関係各課や民間の公共的建築物の管理者などへの理解促進に努めるなど、ノーマライゼーションのまちづくりを推進する。 行う工事が50万円以上で、補助の対象となる住宅に行う工事に要する経費の10パーセントに相当する額(当該10パーセントに相当する額が20万円を超えときは20万円。)の補助を行う。補助金額に1千円未満の端数があるときは切り捨て。	多賀町住宅リフォーム促進事業補助金交付数	52件	30件	578	32件	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	概ね目標値に近い交付決定件数であるため	特になし	産業環境課
3	4	2	生活支援コーディネーターや福祉会、自治会の集落づくり委員会と連携して開催する住民福祉懇談会や、町民が集落について考える将来ビジョンの語り場など、地域のことを話しあえる多様な場づくりに取り組む。	福祉会活動実施集落数	24字	27字	360	26字	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	福祉会への補助金を受けているのは23字。他3字は補助なしで独自の福祉会をとして活動している。	各字の運営方法を尊重しながら、継続して実施していけるよう支援を続けていく。	福祉保健課
3	4	3	生活困窮者の早期把握に向けて福祉事務所や関係者と連携を図るとともに、庁内における生活困窮者把握のための連携会議を定期的に開催し、支援を進める。 連携部局：福祉保健課、税務住民課、地域整備課、教育総務課、学校教育課、多賀町社会福祉協議会、滋賀県湖東健康福祉事務所	徴収対策と生活困窮者等支援対策の連携会議開催数	5回	6回	—	5回	A(期待どおりの成果を上げている)	計画通り開催し、連携が図れている。	今後も連携を図り、早期の把握に努める。	福祉保健課
3	4	4	ひきこもりなど、高齢者の実態を把握するための調査を定期的に行うとともに、民生委員・児童委員や老人クラブなどの地域団体、郵便局員や宅配業者、ガス・水道検針員等による声かけや訪問活動を支援する。	相談・支援件数、その他の活動件数、訪問回数、連絡調整数	3,885	延べ4,000人	4,370	3,895	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	概ね計画通り訪問活動等ができています。	継続実施	福祉保健課
3	4	5	暴力被害者の配偶者やその子どもに対する支援を行うため、関係課が連携して対応できる体制づくりを進める 連携部局：子ども・家庭応援センター、教育総務課、学校教育課、福祉保健課、滋賀県彦根子ども家庭相談センター、滋賀県湖東健康福祉事務所	多賀町要保護児童対策地域協議会実務者会議開催数	4回	4回	—	4回	A(期待どおりの成果を上げている)	年間4回予定している会議を適切に実施することができた。	当会議は関係機関との連携を図る必要があり今後も児童虐待防止のため適切に開催する。	教育総務課(子ども家庭応援センター)
3	5	1	介護・保健・医療・福祉などの必要なサービスが継続的に提供できる地域包括ケアを推進します。介護サービスをはじめ各種のサービスや多様な社会資源を活用しながら、高齢者を取り巻くネットワークの構築に取り組む。 (100%の数値は65歳以上人口にアンケート回収率を乗じた数)	介護が必要になった際に「地域包括支援センター」に相談する人の割合	43.80%	50%	18,278	43.80%	A(期待どおりの成果を上げている)	目標には届いていないが、基準値37.3%からは上昇している。	毎月の広報掲載など今後も継続して周知を進めていく。	福祉保健課
3	5	2	フレイル状態の高齢者を把握し、介護予防事業など必要なサービスを提供することで、要介護状態などになることを予防する。 介護予防に関する知識の普及啓発を推進し、地域ぐるみ(字単位)で自主的な介護予防活動が運営できるよう支援する。	要支援者および事業対象者が2年後も要介護状態でない割合	56% 75人中、42人	75% 127人中95人	3,988	73% 73人中、54人	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	介護予防の周知や事業の拡大について少しずつ成果が出ている	今後も継続して介護予防の周知と実施に取り組む。	福祉保健課
3	5			介護予防自主活動参加者数、団体数	6団体36人	50人、7団体		5団体28人	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	自主活に繋がる予防教室への参加者が減少している	次年度には対象の予防教室への参加を促す脳チェックを取り入れを検討。	福祉保健課

章	節	事業番号	概要	実施指標	実績値(R5)	目標値(R6)	①R6最終予算(千円)	②実績値(3月末現在)	③自己評価	④自己評価に対する理由	⑤今後の取り組み(改善策など)	担当課
3	5	3	老人クラブの自主的な活動を支援する。30人以上のクラブで友愛活動など指定活動がある場合は月3,100円、指定活動では無い活動がある場合は月2,860円、30人未満のクラブには活動があった場合は月2,400円の補助を実施。	老人クラブ活動補助団体数	25団体	27団体	846	23団体	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	補助金があつて継続されている団体もあるので、数は減っているが活動支援はできている。	老人クラブ補助金の見直しも含めて活動支援を継続していく。	福祉保健課
3	5	4	身近な地域で高齢者が自主的な活動として介護予防活動やサロンの集まりができる居場所づくりを推進します。高齢者の経験を活かす活動のあり方や生きがいくりの場の提供、知識や技能を活かした雇用の促進を推進する。(100%の数値は65歳以上人口にアンケート回収率を乗じた数)	地域の社会活動(ボランティア、クラブ、サークル、介護予防の通いの場、老人クラブ、町内会・自治会、収入のある仕事)に週1回以上参加する人の割合	45.40%	60%	19,035	45.40%	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	基準値47%に比較して減少した。アンケート時はコロナ禍の影響はあった。	より外出の機会を増やせるよう支援していく。	福祉保健課
3	6	1	地域の課題を解決するため関係事業所との連携を強化する。湖東地域の自立支援協議会の構成:圏域の相談支援事業者、サービス事業者および関係団体	湖東地域自立支援協議会の会議への参加数	16回	12回	42	19回	A(期待どおりの成果を上げている)	計画通り参加できているため。	計画通り参加していく。	福祉保健課
3	6	2	一般就労を目指す障がい者に対して支援を行う	就労系サービスの利用者数	28人	25人	43,800	27人	A(期待どおりの成果を上げている)	目標通りの利用者数のため。	支援が必要な方に必要な支援を提供する。	福祉保健課
3	6	3	障がいを持つ人であっても地域の中で安心して暮らし続けられるよう事業者と協力し、町内にグループホームの整備を目指す。	町内のグループホームの事業所数	0	1箇所(累計)	—	1箇所	A(期待どおりの成果を上げている)	グループホームの整備が完了し開所したため。	地域における生活の場の充足度を把握していく。	福祉保健課
4	1	1	すべての人からあらゆる人権が守られる社会の実現を図るため、住民や企業を対象に人権リーダー研修会を実施し、人権啓発活動を推進するリーダーとなる人材の育成を目指す。	リーダー研修会参加者数	全 272名 第1回 103名 第2回 89名 第3回 80名	延べ290人	400	計 279人 第1回 117人 第2回 78人 第3回 84人	A(期待どおりの成果を上げている)	昨年度の実績値と比較して、上回っているため。	毎年、回数を追うごとに参加者が減少する傾向があるので、周知に努める。	生涯学習課
4	1	2	すべての人権が守られる社会の実現を図るため、研修会等を実施する。対象33集落、人口の6%の参加をめざす。	字別人権懇談会の参加者数	270人	450	1,063	200	C(期待を下回る)	各字へ案内し計画通り進められている。	引き続き計画通り進める。	総務課
4	1	3	従業員20名以上の企業に対して、事業所内公正採用選考・人権啓発担当者の設置を依頼し、事業主と担当者への研修を実施する。県の取り組みとして事業所内公正採用選考・人権啓発推進班員を委嘱し、企業訪問を実施する。(令和3年度対象企業43社)	企業訪問実施率	44社/44社 100%	100%	152	45	A(期待どおりの成果を上げている)	前年度より対象が45社となっており、対象としている全ての事業所へ企業訪問をし、研修・啓発等を行うことができた。	計画通り実施する事ができた。	総務課
4	1	4	性自認や性的指向に適切な配慮を行うよう、啓発活動を推進する。	啓発活動数	啓発メッセージ放送 有線放送2回	2回	1,063	2	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	計画通り実施するように準備中	計画通り実施するように取り組みます。	総務課
4	1	5	町民の平和意識を高揚させるため、啓発事業を実施する。	平和啓発事業開催数	1回	1回	200	1回	A(期待どおりの成果を上げている)	予定通り開催できている	継続して開催していく	福祉保健課
4	2	1	住民自治活動を支援するための各種施策を実施する。キラリとひかるまちづくり活動支援交付金事業は、令和3年度より特別提案型交付金制度(1計画上限100万円)を開始する。46字・自治会の20%の提案を想定。個性輝くまちづくり活動支援事業補助金により自治活動の支援を行う。	特別提案事業交付金採択団体数	2団体	0団体	0	0	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	今年度の採択団体はないが、令和4年度、令和5年度採択団体への活動実績報告や給付は行われている。	来年度は新規で特別提案事業交付金の採択団体を募集する。	企画課
4	2			個性輝くまちづくり活動支援補助数	1団体	1団体	9,000	9,000	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	敏満寺公民館の完成。実績報告受付まで完了しているため、これから給付を行う。	来年度の実施自治体なし。もっと活用してもらえよう事業内容の周知に努める。	企画課

章	節	事業番号	概要	実施指標	実績値(R5)	目標値(R6)	①R6最終予算(千円)	②実績値(3月末現在)	③自己評価	④自己評価に対する理由	⑤今後の取り組み(改善策など)	担当課
4	2	2	結婚新生活支援などにより定住を促進するため、新規に婚姻した世帯に対して、住居費および引っ越し費用の一部助成を行う(1世帯あたり上限30万円)。	結婚新生活支援数	1世帯	3世帯	300	1世帯	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	受給対象者に対して受給完了している。	制度の普及啓発を継続する。	企画課
4	2	3	地域コミュニティを維持向上するための取組の支援を行う。	中山間地域の活性化取組数	5事業(子どもの居場所、食、地域商社、酒造、買い物支援)	4事業(累計)	14,787	5事業(子どもの居場所、食、地域商社、酒造、買い物支援)	A(期待どおりの成果を上げている)	各事業内容について関係者で調整し、ブラッシュアップされている	各事業について、安定して継続していけるよう運営方法を検討する。	企画課
4	3	1	消費者被害の未然防止のため、週1回の有線放送を利用した啓発放送、町内施設への啓発物資の配布等を行う。	消費者への啓発放送数	150回	48回	480千円	52回	A(期待どおりの成果を上げている)	目標値を超える回数を実施済み	消費者被害の未然防止のため、引き続き啓発を行っていく。	総務課
4	3	2	消費者が気軽に相談できる環境をつくり、適切なアドバイスを行う。	消費者相談件数	町に0件、県に29件の相談	50件	—	町 0件、県 43件	A(期待どおりの成果を上げている)	目標値以下で推移していると考える。	引き続き、消費者が気軽に相談できる環境をつくり、適切なアドバイスを行いたい。	総務課
4	4	1	次世代を担う中学生を対象として、海外の生活・文化にふれることでグローバルな広い視野と見識を持つ人材を養成するための機会づくりとして実施する。	海外派遣参加者数	0	10人	—	100	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	計画通り実施する事ができた	計画通り実施する事ができた。	生涯学習課
4	5	1	自然の大切さや地域の環境保全について関心を持ってもらうきっかけとなるよう、小学生を対象とした環境学習、広く町民を対象とした出前講座、環境イベントを開催する。	環境学習会の開催数	0件	5回	—	2回	C(期待を下回る)	出前講座は1回、環境イベントを1回行ったが、環境学習が開催できていない。	環境学習会について、生涯学習課と連携し検討する。	産業環境課
4	5	2	1市4町で構成する彦根愛知犬上広域行政組合の小八木中継基地(燃えないごみ)の管理運営と、新ごみ処理施設を建設推進を図る。	町民1人当たりのごみ排出量(燃えないごみ)	34.8	40g/日	20,531	32.5g/日	A(期待どおりの成果を上げている)	1日当たりの排出量は抑えられている	特になし	産業環境課
4	5	3	4Rの推進、生ごみの減量化により、住民・事業者・行政が連携してごみ減量に取り組む。目標値は、一般廃棄物処理基本計画の目標値とする。	町民1人当たりのごみ排出量(燃やすごみ)	394	390g/日	59,683	387g/日	A(期待どおりの成果を上げている)	燃やすごみの量が減少している。	特になし	産業環境課
4	5	4	食品ロス対策として、家庭で余っている食べ物を持ち寄り、地域の福祉団体等に寄付を行うフードドライブを実施し、ごみの減量化を推進する。	フードドライブの開催数	0回	3回	—	0回	C(期待を下回る)	未開催であったため。	社会福祉協議会と連携して取り組むことを検討する	産業環境課
4	5	5	目標値を国の地球温暖化対策計画に準拠し、第3次地球温暖化対策実行計画に基づき、引き続き二酸化炭素の削減に取り組みます。 (目標値:2013年度を基準に2030年度に二酸化炭素排出量を約40%削減する。)	温室効果ガス削減率(2013年対比)	12.5	28%	—	41.0%	A(期待どおりの成果を上げている)	目標値を上回るため。	特になし	産業環境課
4	5	6	自然環境や生物をテーマとした観察会を開催し、多賀町の魅力を紹介するとともにその保全について啓発する(多賀町の人口に対して2.5%の参加者数を目標とする)。	自然環境や生物をテーマとした観察会への参加者数	318人	延べ200人	55	249人	A(期待どおりの成果を上げている)	多賀植物観察の会との共催で4月～11月にかけて毎月「花の観察会」を実施した。	「花の観察会」のほか、町内外の観察スポットで自然環境や動植物をテーマにした観察会を企画・開催する。	生涯学習課(博物館)
5	1	1	農業委員会の農地パトロールなどにより遊休農地面積増加の抑制を図る。町内農地面積の0.7%以内である現状より悪化させないようにする。	遊休農地面積	4.3ha	4.5ha	108	3.6ha	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	遊休農地面積増加が抑制されている。	引続き農地パトロールを実施する。	産業環境課
5	1	2	適切な担い手への農地の集積を進め、集積率の向上を図る。滋賀県の集積目標は令和6年度までに70%としているが、山間地である本町での集積は難しいため50%を目標とする。	担い手への集積率(「農業委員会活動計画書」実績値より)	56.00%	65.0%	0	60.0%	C(期待を下回る)	前年度から集積率が上昇しているが、目標値を下回っているため。	引続き担い手への集積を推進する。	産業環境課

章	節	事業番号	概要	実施指標	実績値(R5)	目標値(R6)	①R6最終予算(千円)	②実績値(3月末現在)	③自己評価	④自己評価に対する理由	⑤今後の取り組み(改善策など)	担当課
5	1	3	地域ぐるみで行う農地や農業施設の保全活動、田んぼや水路の生物調査、農道法面に花を植える活動などを支援し、農地の持つ多面的機能の発揮を促進することで、良好な地域社会の維持および形成を図る。(滋賀県のカバー率70%にならない、最大対象面積:農振農用地47,400aの70%を目標とする。)	農村まるごと保全向上対策事業対象地域における保全のため活動計画に位置付けられた農地面積	30,794	33,200a	11,511	30,794	C(期待を下回る)	概ね良好な地域社会の維持に取り組んでいる。	事業に取り組む対象地域(集落)を増やす	産業環境課
5	1	4	農業生産条件の不便な中山間地域等において集落等を単位とする農用地の維持・管理にかかる活動を推進し、農業の有する多面的機能の維持・発揮を図る。(最大対象面積:農振農用地47,400a)	中山間地域等直接支払推進対策事業対象地域における保全のため活動計画に位置付けられた農地面積	5,313	7,000a	4,340	5313	C(期待を下回る)	集落協定に変更がなく、対象農地面積も変更なく、農業の有する多面的機能の維持等の活動に取り組んでいる。	事業に取り組む対象地域(集落)を増やす	産業環境課
5	1	5	現在23名の認定農業者で、町内の多くの耕作農地を守っているが、高齢化等による担い手不足・世代交代が予想されることから、耕作農地の遊休農地化を防止するため、現在の人数を微増させるため25名の認定農業者を確保する。 ※認定農業者とは、農業経営基盤強化促進法に基づいて、効率的で安定した農業経営を目指すために作成する「農業経営改善計画」を市町村に提出して認定を受けた農業者のこと。	認定農業者数	24人	25人	—	25人	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	今年度、新たな認定農業者として1名を認定し、目標となる人数を達成した。	大規模農家が少なく、また農業者の高齢化により、現状の認定農業者への農地集約が予想される。また条件不利な圃場が多く新規就農者も増えていないため、現在、生産意欲農家と呼ばれる認定ではない農家に認定を目指してもらうようお願いをしていく。	産業環境課
5	1	6	農業における経営所得の安定を目的に、滋賀県農業再生協議会が設定する目標に基づき生産量を調整する。	転作面積	162.6ha	166.7ha	443	162ha	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	目標数値を概ね達成しているため。	需要に応じた米の生産を実現するため、転作実施の重要性を農業者へ周知していく。	産業環境課
5	1	7	農業者の高齢化や離農が進む中で、農業振興を目的に、特産物の栽培面積について現状の微増を目指す。	特産物(にんじん、そば、シャインマスカット)の栽培面積	7808a	8,200a	1,770	8724	A(期待どおりの成果を上げている)	そばの作付け面積の増加により目標数値を達成したため。	作付農家を増やすため、イベントや研修等で周知を行う。	産業環境課
5	1	8	特産物の栽培にあたり、化学合成農薬等の削減など地球温暖化防止や生物多様性保全など自然環境の保全に資する農業活動を促進する。(最大対象面積:農振農用地47,400aの約40%を目標とする。)	環境保全型農業取組面積	19774a	19,000a	9,938	20188a	A(期待どおりの成果を上げている)	そばの作付け面積の増加により目標数値を達成したため。	環境保全型農業の取り組みを生産者に勧奨する。	産業環境課
5	1	9	現在、杉の子作業所と農家が連携して多賀にんじんを使用した加工品開発に取り組んでいる。 今後も、多賀そば、多賀にんじん、桃原ごぼうなど特産物を利用した商品開発、販売促進を図る。	商品開発数	0	5件 (累計)	470	0	C(期待を下回る)	開発された商品が無い。	6次産業化(商品開発)に向けて、生産者に勧奨する。	産業環境課
5	1	10	給食をはじめ町内における地産地消の取り組みの強化を図る。 (近隣市町の令和元年度実績※重量:彦根市43%、愛荘町46%、豊郷町0.3%)	学校給食における町内産野菜の使用率 ※米の使用率は100%	43%	50%	18,549	55.68%	A(期待どおりの成果を上げている)	前年度実績および目標値を上回っているため	今後も続けていけるよう、生産者と協力していく。	産業環境課
5	1	11	野生鳥獣による被害を減少させるため、彦愛犬鳥獣被害防止計画に基づき、総合的な被害防止対策を実施するほか、ニホンザルの個体数調整などを行う。	野生鳥獣による農作物被害額	1,329千円	1,200千円	19,114	5,292千円	C(期待を下回る)	目標金額を大きく上回ったため。	ニホンザルの計画的な捕獲を実施する。 追払いの積極的実施、人里や農地の餌場価値を低下させる。	産業環境課
5	1	12	野生鳥獣による被害を減少させるため、彦愛犬鳥獣被害防止計画に基づき、有害鳥獣駆除を行う。	主要3獣種の (シカ・イノシシ・サル)捕獲数	シカ709頭 イノシシ21頭 サル 23頭	シカ900頭 イノシシ110頭 サル 150頭	15,996	シカ752頭 イノシシ39頭 サル 37頭	A(期待どおりの成果を上げている)	捕獲実績が順調に上がっている。	現体制を維持し、捕獲数が減少しないよう努める。	産業環境課

章	節	事業番号	概要	実施指標	実績値(R5)	目標値(R6)	①R6最終予算(千円)	②実績値(3月末現在)	③自己評価	④自己評価に対する理由	⑤今後の取り組み(改善策など)	担当課
5	2	1	放置林による所有者不明を未然に防止するため、森林所有者と森林境界の明確化を集落単位で進める。取組実施集落数累計5集落。対象集落の抽出は困難なため実施集落数とする。	森林境界明確化実施数	6集落(累計)(実施中)	8集落(累計)	1,125	6集落(累計)(実施中)	C(期待を下回る)	4集落を実施し、累計8集落とする予定だったため	集落への要望調査を実施するなどして取組団体の掘り起こしを行う	産業環境課
5	2	2	民有林の森林経営管理について、現状の把握や森林所有者の意向調査を進め、適正な管理が行われる方策を検討する。毎年1集落ずつは少なくとも実施する。	森林所有者への意向調査実施数	1集落	3集落(累計)	0	0	C(期待を下回る)	未実施のため	R7年度に実施する	産業環境課
5	2	3	森林管理および林業に不可欠な路網や施設について、新設や維持管理を進める。R3年度の8,250mを参考に設定	林内作業道延長	10,701m	10,000m	1,410	9,179m	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	目標値に届かなかったため	主伐、間伐が進むように事業所を支援する。	産業環境課
5	2	4	森林を健全な状態に保つために必要な間伐などの森林整備や伐採跡の植栽などを推進する。年平均250ha(多賀町特定間伐等促進計画による)	間伐面積	73.65ha	250ha	3,168	52.92	C(期待を下回る)	目標に対して実績が大きく下回っているため	目標と実績の乖離が大きいので目標自体の再考が必要。	産業環境課
5	2	5	造林木への食害や剥皮害などの深刻な被害に加えて、下層植生の消失などによる土壌流出など森林の有する多面的機能へも影響を及ぼしている獣害について、総合的な被害防止対策を推進する。毎年10%増を目標とする。	獣害対策実施面積	15.82ha	60ha	—	2.79	C(期待を下回る)	目標に対して実績が大きく下回っているため	目標と実績の乖離が大きいので目標自体の再考が必要。	産業環境課
5	2	6	町内に原木流通土場や木材乾燥施設、木材加工機械を導入し、町内での森林資源循環をめざす取組を推進する。新たな木材産業の確立により、町内の就業支援を行う。現況を元に毎年10%の生産量増を目標とする。	木材生産量	4,223m ³	4,700m ³	0	5,088m ³	A(期待どおりの成果を上げている)	前年度実績および目標値を上回っているため	引き続き林業事業体の素材生産を支援する	産業環境課
5	2	7	新たな木製品の開発や販売戦略の検討などを支援する。町産木材消費につながる支援を行う。毎年少なくとも2件の商品開発を行う。	新たに開発した木製品数	1件	7件(累計)	0	5件(累計)	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	目標を下回っているものの、前年度と比較し、数字が伸びているため。	展示会の情報を共有するなど、引き続き支援を行う。	産業環境課
5	2	8	本町の森林、林業、木材産業について、普及啓発を行うためにイベントを開催するほか、森林林業体験施設である高取山ふれあい公園の運営や各種関係団体の活動を支援します。	高取山ふれあい公園のイベント開催数、利用者数	1回 約300人	5回、延べ20,000人	8,380	5回 延べ11,400人	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	イベント開催数は目標達成しているが使用者数は未達のため。	施設の改修などを計画的に実施し、利用者増につなげる。	産業環境課
5	3	1	商工会のもつ専門性の高い知識と指導力を活かし、経営指導や融資斡旋・研修など、町内企業の支援を強化する。	商工会の経営指導数	952件	1,400件	7,700	908	C(期待を下回る)	目標値が高すぎたこと、マンパワーの限界等もあり、目標値を下回る	目標値を再考し、現行体制で目指せる目標を立てる。	産業環境課
5	3	2	多賀町がんばる商店応援補助事業により新規開業者を支援する。	新規出店者数	1件	5件(累計)	2,000	1件	A(期待どおりの成果を上げている)	年内に開業	継続して取り組む	産業環境課
5	3	3	空き家・空き店舗が増加傾向にあるが、貸す側と借りる側の条件が合わず、空き家・空き店舗の活用は難しい。このような状況の中、空き家・空き店舗を活用した創業に意欲を持った人が、利用しやすい制度に改善するとともに、関係団体や民間事業者と連携し、空き店舗の活用方法についての検討や活用促進を図る。	空き家・空き店舗を活用した新規出店者数	2件	3件(累計)	2,000	0件	C(期待を下回る)	新規出店がなかったため	引き続き、関係団体と連携し空き店舗の活用について検討を行う。	産業環境課
5	3	4	町内の関係者に対し、事業承継支援の周知を図る。	事業承継数	0件	2件(累計)	—	0件	C(期待を下回る)	未実施のため	事業継承マッチングプラットフォームの活用、事業者の意向調査など検討を行う。	産業環境課

章	節	事業番号	概要	実施指標	実績値(R5)	目標値(R6)	①R6最終予算(千円)	②実績値(3月末現在)	③自己評価	④自己評価に対する理由	⑤今後の取り組み(改善策など)	担当課
5	3	5	商工と農林業、観光関係の連携を強化する。	産業間の情報交換会等の参加者数	0回、0人	4回、延べ30人	—	0回、0人	C(期待を下回る)	未実施のため	農林業担当と連携し、開催を検討する。	産業環境課
5	4	1	町内の観光に関する情報収集するシステムを構築し、観光協会のホームページやSNSを活用して迅速な情報発信を強化する。また多賀観光協会HPへ多くの人にアクセスしてもらえるように改善を図り、基準値から年間閲覧数150%増を目指す。	多賀観光協会HP閲覧数	223,233	250,000回(累計)	740	235,622	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	観光協会のHPがリニューアルされた	継続して取り組む	産業環境課
5	4	2	環境や景観に配慮しつつ、誰もが快適な周遊ができるよう、観光協会へ委託し、案内板や案内標識の計画的な整備・修繕を支援する。	案内板・案内標識・パンフレット等の整備数	0件	10件(累計)	740	0件	C(期待を下回る)	未実施のため	必要箇所の精査も含め、観光協会と連携して取り組む	産業環境課
5	4	3	近隣市町で構成する広域観光協議会などで実施する事業に参画し、誘客促進を展開する。	事業への参加者数	2回	3回、延べ180人	200	1件実施	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	PRを行い継続的に誘客する。	継続的に行う	産業環境課
5	4	4	レンタサイクルや観光マップ・観光ガイドなどを活用し、観光案内標識や駐車場・トイレなどの環境整備に取り組み、観光客にとって快適で回遊性の高い観光地づくりに努める。	レンタサイクル利用者数	33人	165人	72	37人	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	観光案内所での貸出返却だが、一定の利用がある	令和7年度は休止	産業環境課
5	4	5	愛知・犬上の観光施設で年間約3,500名の方がボランティアガイドを利用している。観光ガイドの役割は観光資源の価値を高めることから、観光ボランティアガイドの新たな人材の発掘を図るとともに、ガイドとしての質を高め、団体としての自立をめざす。	観光ボランティアガイド実施数、利用者数	14回、212人	70回、延べ800人	—	14回、171人	C(期待を下回る)	目標を達成することが困難	ボランティアガイドの質の向上と人材発掘の検討	産業環境課
5	4	6	博物館をコア・スポットとし、古代ゾウ発掘プロジェクト調査地や河内風穴などをサテライト・スポットとしたエコミュージアム構想を検討し、サテライト・スポットの整備やモデルツアーの実施に取り組む。	モデルツアー開催数、参加者数	44人	延べ60人(30人×1回、10人×3回)	—	4回、61人	A(期待どおりの成果を上げている)	多賀観光協会との共催で地学ツアーを実施した。また、滋賀県市町村職員互助会の地底探検ツアーとライトアップ事業の「地底あかり・ガイドツアー」に協力した。	地域資源を活用したツーリズムの振興に努める。	生涯学習課(博物館)
5	5	1	空き家・空き店舗が増加傾向にあるが、貸す側と借りる側の条件が合わず、空き家・空き店舗の活用は難しい。このような状況の中、中心市街地の空き家・空き店舗を活用し、創業意欲のある人が創業しやすい補助制度への改善を図るとともに、関係団体や民間事業者と連携し、空き店舗の活用方法についての検討や活用促進を図る。	中心市街地での新規出店数	1件	3件(累計)	2,000	0件	C(期待を下回る)	新規出店がなかったため	商工会と連携して取り組む	産業環境課
5	5			空き家・空き店舗を活用した新規出店数	1件	2件(累計)		0件	C(期待を下回る)	新規出店がなかったため	商工会と連携して取り組む	産業環境課
5	5	2	都市計画マスタープランに基づき、適正な管理を推進するために、都市計画審議会を開催する。	都市計画審議会開催数	2回	3回	0	0回	C(期待を下回る)	国道8号バイパスに係る都市計画決定を想定していたが、県の手続きに時間を要しているため、開催がない。	地区計画に係る相談を受けているため年度内に1回は開催を予定している。	企画課
5	5	3	中心市街地の関係者に対し、事業承継支援の周知を図る。	中心市街地での事業承継数	0件	2件(累計)	—	0件	C(期待を下回る)	新規出店がなかったため	商工会と連携して取り組む	産業環境課
5	5	4	多賀観光協会が行う周遊促進事業の支援を行う。	「叶絵馬すたんぶ巡り」利用者数	0件	800人	900	0人	C(期待を下回る)	未実施のため	叶絵馬すたんぶ巡りは現在されておられないが、引き続き実施に向け支援をおこなう	産業環境課
5	6	1	就労に対し、困難や課題を抱える相談者を各支援機関へスムーズにつなげられるよう情報発信に努めます。また、彦根雇用対策協議会等と連携し企業説明会やセミナーなど就労支援を行います。	企業説明会、就労支援セミナーなどの開催回数および情報交換会等への参加数	0件	10回	—	0件	C(期待を下回る)	未実施のため	引き続き周知に取り組む	産業環境課

章	節	事業番号	概要	実施指標	実績値(R5)	目標値(R6)	①R6最終予算(千円)	②実績値(3月末現在)	③自己評価	④自己評価に対する理由	⑤今後の取り組み(改善策など)	担当課
5	6	2	地元雇用を促進するため彦根雇用対策協議会等と連携し企業説明会やセミナーなど就労支援を行います。	企業説明会、就労支援セミナーなどの開催回数および情報交換会等への参加数	0件	10回	—	0件	C(期待を下回る)	未実施のため	引き続き周知に取り組む	産業環境課
5	6	3	地元企業、立地企業へ魅力ある職場づくりへの情報提供・仕組みづくりを支援します。	企業訪問実施率	44社/44社100%	100%	—	100	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	計画通り実施する事ができた	計画通り実施する事ができた。	総務課
5	7	1	県などと連携し、企業誘致、既存企業の定着を図るため、滋賀県産業立地推進協議会の研修会等に参加し、情報収集を行う。	滋賀県産業立地推進協議会研修等参加数	1回	1回	30	0回	C(期待を下回る)	他業務繁忙のため参加日程が合わず参加できなかった。	情報収集としては滋賀県と協力しながら取り組みを進める。	企画課
5	7	2	商工関係と農林観関係の連携強化を図る。	異業種間での情報交換会等の参加者数	0回、0人	延べ30人(累計)	—	0件	C(期待を下回る)	未実施のため	農林業担当と連携し、開催を検討する	産業環境課
5	7	3	多賀町がんばる商店応援補助事業により新規開業者を支援し、地場産品を活用した商品開発を促進する。	新たな商品、体験プログラム数	1件	2件(累計)	2,000	0件	C(期待を下回る)	新規出店がなかったため	引き続き、がんばる商店応援補助事業による支援に努める	産業環境課
6	1	1	交通弱者の生活交通確保のため、公共交通の確保、利便性の向上に努める。	バス・乗り合いタクシーの利用者数	145,287	210,000人	73,914	152,148人	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	前年より利用者数が増加したため	引き続き利便性の向上策検討、お得情報の周知など利用者増加に取り組む	企画課
6	1	2	近江鉄道の利用促進を図るためのびわこ京阪奈線(仮称)鉄道建設期成同盟会事業を多賀観光協会と連携して実施し、ウォーキングイベントを年2回開催する。	ウォーキングイベント開催数、参加者数	2回、14人	2回、延べ60人	0	2回33人	C(期待を下回る)	開催数は達成したが参加者に関しては未達で終了した。	来年度から企画課の事業から三社まいを終了する。なお、来年度からは多賀観光協会のみで三社まいの運営を行う。	企画課
6	2	1	水道事業計画に基づき、老朽管とされている14.4kmの更新を行う。	老朽管減少率	17.36%	31.3%	123,033	20.83%	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	当初予定した更新管の更新は全て実行することが出来た。	今後も計画的な管路更新に努めていく。	地域整備課
6	2	2	現在、管路総延長138.7kmのうち、31.4kmが耐震化されていますが、水道事業計画に基づき、耐震化工事を進める。	耐震化率	24.00%	24.8%	123,033	26.40%	A(期待どおりの成果を上げている)	当初予定した更新管の更新は全て実行することが出来た。	今後も計画的な管路更新に努めていく。	地域整備課
6	2	3	令和元年度末現在の水洗化率は滋賀県平均94.0%に対し、多賀町93.7%で概ね平均に近い状況にある。今後更なる水洗化率向上を図るため、下水道区域内の各家庭において下水道への接続を促進する。	下水道への接続率	95.7%	97%	—	95.60%	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	各所に下水道への接続を促した。	今後も下水道への接続を促進していく。	地域整備課
6	2	4	令和元年度末現在の水洗化率は類似団体平均62.5%に対し、多賀町73.3%で平均を上回っている状況にある。今後更なる水洗化率向上を図るため、農業集落排水区域内の各家庭において農業集落排水への接続を促進する。	農業集落排水への接続率	76.00%	77%	—	78.03%	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	各所に農業集落排水への接続を促した。	今後も農業集落排水への接続を促進していく。	地域整備課
6	2	5	合併処理浄化槽区域内の各家庭において合併処理浄化槽の設置を促進する。	合併処理浄化槽の設置率	67.2%	72%	—	70.30%	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	新規設置の申し込みがあったため。	未接続世帯に対して設置勧奨を行う。	地域整備課
6	2	6	多賀町の下水道管渠は81.7kmあり、下水道施設を起因とする事故の未然防止を図るため、多賀町公共下水道ストックマネジメント実施方針に基づき、幹線を7年に1回、枝線を15年に1回の頻度で点検、調査をに実施し、必要に応じて施設の修繕・更新を実施する。	下水道管渠の点検・調査の延長	12.07km	18km(累計)	7,180	15.3km	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	多賀町公共下水道ストックマネジメント実施方針に基づき、点検、調査をに実施した。	今後も多賀町公共下水道ストックマネジメント実施方針に基づき、点検、調査をに実施していく。	地域整備課

章	節	事業番号	概要	実施指標	実績値(R5)	目標値(R6)	①R6最終予算(千円)	②実績値(3月末現在)	③自己評価	④自己評価に対する理由	⑤今後の取り組み(改善策など)	担当課
6	2	7	農業集落排水施設としては、萱原地区と佐目地区の2つの処理区を有し、管渠延長10.9kmである。農業集落排水施設を起因とする事故の未然防止を図るため、農業集落排水事業最適化構想に基づき、農業集落排水施設の修繕・更新を実施する。	公衆用道路における農業集落排水施設(管渠・マンホール)の異常発生数	0件	0件	13,047	0件	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	公衆用道路における農業集落排水施設(管渠・マンホール)の異常発生件数は、0件であった。	今後も公衆用道路における農業集落排水施設(管渠・マンホール)の異常発生件数が0件となるよう努める。	地域整備課
6	2	8	総務省の定める公営企業の適用拡大に向けた新たなロードマップに基づき、令和5年度末までに農業集落排水事業特別会計を公営企業会計へ移行する。	公営企業会計への移行率	100%	100%	—	100	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	令和6年度より公営企業会計に移行している。	今後も適正な運営に努める。	地域整備課
6	3	1	必要な道路改良や生活、環境とまちくりに配慮した道路整備に対する要望を行う R3実績:実現6/要望52	国・県道整備の要望に対しての実現率	0.1%	25%	—	21.87%	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	概ね、要望に対する県の施工実施率が高かったため。	引き続き、県に対し国・県道整備の要望に努めている。	地域整備課
6	3	2	(仮称)多賀スマートインターチェンジの整備に合わせて接続町道の整備を推進する。	(仮称)多賀スマートインターチェンジの整備率(再掲)	88.2%	100%	81,910	57.2%	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	今年度もNEXCOとの協定による負担金の支出が主なものであり、おおむねの成果をあげている	R7.6に地区協議会を開催予定(おおむねの供用時期の報告)	地域整備課
6	3	3	道路環境を改善し、安心・安全な道路を整備する。	町道改良率	60.7%	60.7%	28,023	60.67%	A(期待どおりの成果を上げている)	適切な維持管理が図れているため。	引き続き、安心・安全な道路整備に取り組む。	地域整備課
6	3	4	道路環境を改善し、安心・安全な道路を整備する。	町道舗装率	83.9%	83.80%	—	83.85%	A(期待どおりの成果を上げている)	適切な維持管理が図れているため。	引き続き、安心・安全な道路整備に取り組む。	地域整備課
6	3	5	地元要望に基づき、里道の舗装、改良を実施し、里道の安全性を確保する。	地元の要望に対して里道整備実現率	0%	22%	—	予算措置なし	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	地元要望が無かったため、実施せず。	地元要望があればその必要性を確認し、整備を行う。	地域整備課
6	3	6	除雪体制を充実させ、積雪による通行障害を解消する。	町道除雪延長	81.9km	81km	72,011	82km	A(期待どおりの成果を上げている)	委託業者及び集落と協議のした結果、除雪延長が増加した	除雪委託業者の確保	地域整備課
6	3	7	5年ごとに調査を行い、その結果に基づき橋梁長寿命化計画を策定および見直を行う。また、計画に基づき修繕を行う。	長寿命化計画に基づく橋梁修繕数(更新数/長寿命化が必要な橋梁数8)	0%	37.5%	—	予算措置なし	C(期待を下回る)	国の予算措置の状況により、令和6年度に全橋梁(149橋)の内94橋分しか点検が出来なかった。	令和7年度に残り55橋の点検を行い、令和8年度に長寿命化修繕計画を作成し、その計画を基に橋	地域整備課
6	4	1	河川の流下能力の確保を行う。	樹木伐採数、浚渫回数、護岸修繕数(県営)	4箇所	4箇所	—	5箇所	A(期待どおりの成果を上げている)	適切な維持管理が図れているため。	引き続き適切な維持管理に努める。	地域整備課
6	4	2	地元要望に基づき、集落の排水路を整備し、治水上の課題を解決する。	地元の要望に対して集落排水路の整備実現率	0	50%	—	予算措置なし	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	地元要望が無かったため、実施せず。	地元要望があればその必要性を確認し、整備を行う。	地域整備課
6	4	3	住民参加と協働による河川の維持管理と環境保全活動を推進する。	河川愛護活動区間の延長	22.8km	25.1km	1,518	23.2km	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	適切な維持管理を図っているため。	今後も適切な運営に努める。	地域整備課
6	4	4	親水性に配慮した水辺環境の整備を行う。	地元の要望に対して集落排水路の整備実現率(再掲)	0%	50%	—	予算措置なし	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	地元要望が無かったため、実施せず。	地元要望があればその必要性を確認し、整備を行う。	地域整備課
6	4	5	町民、事業所、行政が連携して河川の美化活動を行う。 年1回、27集落実施	河川美化活動の開催数、参加者数	979人	1回、1,050人	1,518	909人	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	適切な維持管理を図っているため。	今後も適切な運営に努める。	地域整備課
6	4	6	町内主要河川(犬上川・芹川・車戸川・太田川)の水質の推移を監視し、生活環境の保全に係る環境基準Aに適合するよう水質保全対策の推進を図る。	生活環境の保全に係る環境基準Aの適合数	年4回測定	A類型 4河川	2,145	4回	A(期待どおりの成果を上げている)	期待通り	特になし	産業環境課
6	5	1	町民の景観に対する意識の醸成や活動の推進を図るため、住民、商工会、まちづくり団体、観光協会、行政で構成される会議(委員数17人)を開催する。	景観関係会議開催数、参加者数	5回、47人	4回、延べ68人	0	1回、15人	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	本会議は1回開催だが、別途小委員会3回23人を開催した	会自体が形骸化しており、会の目標を再度共有し、今後のあり方について検討を行う。	企画課
6	5	2	町並みの維持や整備の支援を行うため、歴史的建造物の調査を実施し、登録を推進する。	国登録有形文化財数	0	1件 (累計)	0	0件	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	登録はまだであるが申請中であり、2件の登録を見込んでいる。	新たな候補物件の検討を進める。	生涯学習課(文化財センター)

章	節	事業番号	概要	実施指標	実績値(R5)	目標値(R6)	①R6最終予算(千円)	②実績値(3月末現在)	③自己評価	④自己評価に対する理由	⑤今後の取り組み(改善策など)	担当課
6	5	3	啓発看板・防犯カメラの設置と、月8回のクリーンパトロールにより不法投棄の抑制を図る。	不法投棄ごみ処理量	1.33	4t	1,530	2.1t	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	目標値より少ないが、前年度より増加しているため。	継続して取り組む	産業環境課
6	6	1	若者による住宅取得や多世代同居にかかる住宅取得を支援する。住宅に課税される固定資産税相当額を3年間助成(各年上限10万円)。	若者定住支援事業助成数	83.7%(67/80世帯)	89世帯	5,442	83.1%(74/89世帯)	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	全体の50%以上の申請が提出済のため	2月末納期で固定資産税を払い終える申請者もいるかと思うので申請漏れがないよう、LINEや再通知(郵送)などを活用し申請の促進に努める。	企画課
6	6	2	空き家の利活用を図るため、空き家の登録を促進する。H27年度から制度開始、R4調査時空き物件数357件。	空き家バンク成立数	20件(累計) R5 3件(売買3)	20件(累計)	0	23件(累計) R6 3件(売買3)	A(期待どおりの成果を上げている)	目標達成しているため	引き続き空き家の流通促進に努める	企画課
6	6	3	良好な居住環境づくりを行うため、不良空き家の除去を支援する。 ・空き家住宅等除却支援事業:補助基本額に2分の1を乗じて得た額以内(上限500,000円)	空き家除却支援事業補助件数	100%(3件)	5件	500	1件	C(期待を下回る)	想定していた実績に及んでいない	啓発を行い、不良空き家があれば申請を促す	企画課
6	6		・特定空家とは、倒壊など著しく保安上の危険なる恐れや著しく衛生上有害となる恐れなどで認定される空き家	特定認定空き物件数	0件	0件	0	0件	A(期待どおりの成果を上げている)	通報に基づき、空き家の所有者調査を行い、適宜対応依頼文を送っている。	引き続き良好な居住環境づくりに努める。	企画課
7	1	1	限られた人員・財源を効果的・効率的に活用する。	人口1人当たりの人件費、物件費および維持補修費の合計額	296,277円	270,000円	—	323,661円	C(期待を下回る)	各費用が増加した上、人口減少により昨年度より増加した。	引き続き効率的な活用に努める	企画課
7	1	2	事務の効率化を行うため、電子入札システムを導入し、電子入札の執行を推進する。	工事・委託における電子入札の執行割合(電子入札執行数／入札執行数)	100% (77/77※) ※工事・委託	100%	1,083	100% (57/57※) 工事・委託	A(期待どおりの成果を上げている)	工事・建設工事関連業務委託について全案件電子入札を行っている。	物品・役務の入札についても電子入札の導入検討を進める。	企画課
7	1	3	町民の負担軽減や事務効率化のため、ICTを活用した電子申請の推進を図る。	電子申請の可能な手続き割合(電子申請可能な手続き数／オンライン化を推進すべき手続き数58)	51.1%(23/45)	50%	—	46.3%(25/54)	C(期待を下回る)	昨年度から件数うが増加していない	オンライン化を推進するよう周知徹底を行う。	企画課
7	1	4	・自治会や市民活動団体等との協働事業の取組を推進する。 ・大学等との協働により高度な課題等の解決に向けて取り組む。 ・町有施設の運営や公共サービスの提供において、PPP(PFI方式、指定管理者制度、アウトソーシングなど)のさらなる活用検討など、民間活力の導入による効率化やサービスの向上を図る(行政改革推進委員会で進行管理)。	自治会等との協働型事業数	4事業	5事業	—	5事業(子どもの居場所、食、地域商社、酒造、買い物支援)※再掲	A(期待どおりの成果を上げている)	目標事業数の実施の他、各事業内容についてもブラッシュアップされている	各事業内容について、継続していけるよう運営方法を検討する。	企画課
7	1			大学等との協働事業数	4事業	5事業		5事業(子どもの居場所、食、地域商社、酒造、買い物支援)※再掲	A(期待どおりの成果を上げている)	目標事業数の実施の他、各事業内容についてもブラッシュアップされている	各事業内容について、継続していけるよう運営方法を検討する。	企画課
7	1			公共施設の指定管理導入割合(指定管理導入施設／公共施設数66)	47.8%(11/23)	50.0%		50%(12/24)	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	目標を達成した	引き続き、既存施設についても指定管理の導入検討を推進する。	企画課
7	1	5	委員会や審議会等において委員の公募を推進する(行政改革推進委員会で進行管理)。	公募委員の登用割合(公募委員の登用数／委員会・審議会等数31)	7.2%(2/28)	13.1%	—	17.9%(5/28)	C(期待を下回る)	公募委員の登用を推進することができなかった。	公募委員の登用を推進するよう周知徹底を行う。	企画課
7	1	6	魅力ある返礼品の開拓やまちの魅力発信を行い、ふるさと納税への関心を高める。	ふるさと納税にかかる収入(ふるさと納税額－ふるさと納税にかかる経費－住民税控除額)	112,369千円 (納税額271,600千円－経費136,291千円－住民税控除額16,346千円)	3,000千円	149,000	117,024千円 (納税額271,600千円－経費136,291千円－住民税控除額18,285千円)	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	住民税控除額の程度によるため自己評価を行うことが困難である。	中間事業者と打合せを行い、返礼品取扱い事業者の拡充と経費の見直しを行って参りたい。	総務課
7	1	7	多賀町行政改革推進委員会により、総合計画および行政改革大綱の検証を行い、毎年計画の見直しを行う。	行政改革推進委員会の開催数	2回	2回	45	2回	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	目標の見直しなど後期計画につながる議論ができた	委員会で進行管理を行うとともに、後期計画策定に向け検討を行う	企画課

章	節	事業番号	概要	実施指標	実績値(R5)	目標値(R6)	①R6最終予算(千円)	②実績値(3月末現在)	③自己評価	④自己評価に対する理由	⑤今後の取り組み(改善策など)	担当課
7	1	8	多賀町公共施設等総合管理計画と個別計画に基づき、適正な管理を推進する(行政改革推進委員会で進行管理)。	行政改革推進委員会の開催数(再掲)	2回	3,000部	45	2回	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	計画通りに委員会を開催し、進捗について確認した	引き続き委員会で進行管理を行う	企画課
7	2	1	町民へ広く町政情報を発信し、公平・平等な町民サービスを提供するため、広報たがを発行する。毎月1回発行。全戸配布2,472世帯、個人郵送200世帯、会社等120、町内施設窓口設置100＋予備	広報発行部数	3000部／月	3,000部／月	3,599	3000部／月	A(期待どおりの成果を上げている)	毎月、目標どおり発行している。	発行部数の他、内容に関する目標について検討を行う	企画課
7	2	2	ホームページの運用を通じて、町民へ迅速かつ正確な情報発信を行う。	ホームページの評価(“役に立たない、見つけにくい”の回答件数の減少)	-14	0ポイント	674	32	A(期待どおりの成果を上げている)	全体として役に立った、見つけやすかったという回答が多い。役に立たない、見つけにくいとの回答が多いコンテンツも見受けられる。	評価の低いコンテンツについては担当課による改善を支援する。	企画課
7	2			ホームページアクセス件数	3,824千回	3,500千回		5,576千回	A(期待どおりの成果を上げている)	非常にアクセスは多い。(プラットフォームによるクローラーBOTによるものも多いと思われる。)	情報更新を適切に行うよう各課に働きかけを継続する。	企画課
7	2	3	様々な角度からの意見・提言等の促進に資するため、町長への手紙やパブリックコメントを実施する。	町長への手紙により改善等実施率	18.1% (6/33)	30%	—	24.3% (10/41)	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	前年より件数も増え改善率も向上した。しかし目標値には達せず。	ひとりで何件も送る方がいるため、利用人数でいうとそこまで増えていないため、町長への手紙を広く周知できるよう努める。	企画課
7	2			パブリックコメントの実施率	100%(3/3)	100%		100%(3/3)	A(期待どおりの成果を上げている)	目標値の成果をあげることができた。	引き続き、計画策定時のパブリックコメントの実施を推進する。	企画課
7	3	1	湖東定住自立圏推進協議会で構成される市町と連携した取組を推進する。 参考：湖東定住自立圏共生ビジョン圏域への観光入込客数(KPI) R6：5,700人	観光入込客数(多賀大社を除く)	70,254人	115,000人	270	26,395人	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	概ね期待通り	継続して取り組む	産業環境課
7	3	2	近隣市町で構成する広域観光協議会などで実施する事業に参画し、誘客促進を展開する。 参考：湖東定住自立圏共生ビジョン圏域内レンタサイクル利用者数(KPI) R6：3,015人	レンタサイクル利用者数(再掲)	33人	165人	72	27人	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	観光案内所での貸出返却だが、一定の利用がある	次年度は中止	産業環境課
7	3	3	県や他市町と連携し、移住定住の促進事業に取り組む。	移住就業支援補助件数	申請なし	1件	1,000	申請なし	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	補助申請はないが、他市町および団体と連携して移住定収促進に努めている	引き続き事業を推進する	企画課
7	3	4	1市4町で構成する広域行政組合で紫雲苑(斎場)の管理運営を図る。	紫雲苑管理運営負担金(斎場)	5699	4,400千円	4,839	4839	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	概ね期待通り	継続して取り組む	産業環境課
7	3	5	4町で構成する湖東広域衛生管理組合リバースセンター(燃やすごみ)の管理運営を図る。	町民1人当たりのごみ排出量(燃やすごみ)(再掲)	402	390g/日	59,683	387g/日	A(期待どおりの成果を上げている)	燃やすごみの量が減少している。	特になし	産業環境課
7	3	6	1市4町で構成する彦根愛知犬上広域行政組合の小八木中継基地(燃えないごみ)の管理運営と、新ごみ処理施設を建設推進を図る。	町民1人当たりのごみ排出量(燃えないごみ)(再掲)	34.8	40g/日	20,531	32.5g/日	A(期待どおりの成果を上げている)	1日当たりの排出量は抑えられている	特になし	産業環境課
7	3	7	4町で構成する湖東広域衛生管理組合が豊楠苑(し尿処理施設)を管理運営を図ります。	湖東広域衛生管理組合負担金(し尿)	53346	50,000千円	55,354	55354	B(概ね期待どおりの成果を上げている)	概ね期待通り	継続して取り組む	産業環境課